



新しい文化施設エリアを考える

市民ワークショップ

模型ワークショップを実施!

TAKEOFF!

第4回テーマ

「使いやすい施設エリアを考えよう！」



令和4年10月16日(日) 4回目の市民ワークショップが開催されました。参加人数は9名。10代から70代まで幅広い世代の市民の皆さんにご参加いただきました。

第4回のテーマは「使いやすい施設エリアを考えよう」。人の動線や景観、広場の活用方法などをイメージしながら模型ブロックを用いた実践的なグループワークを行いました。

広場を活かした施設配置にしたい!

今回のワークショップは、これまでと少し違った形式で「模型ブロック」を動かしながら施設の配置計画について考えました。

大ホール棟以外は全て建替となりませんが、規模や階層配置などはまだ検討中ですので、皆さんには自由な発想でアイデア共有をしていただきました!

このチームでも共通していたのは、庭園・広場を活用できる配置にしたいということ。模型ブロックを動かしながら「いや、この配置にするのは庭園が狭くなっちゃうなあ」「エントランスから庭園が見える方がいいよね」など試行錯誤しながら作業を進めていただきました。

参加者の声

具体的に立体で物考えることでイメージがより膨らみました。グループメンバーで共通した思いは気軽に来れる空間にしたいです。

今日も楽しく脳を使わせていただきました。本日最後の参加になりましたが、最後の完成を待っています!

歴史的・文化的な施設、庭園は「守る」ことが大切ですがみんなでも利用して「楽しむ」ことも必要だと思います。ぜひ活用して欲しいです。

武雄市が独自で集客できる施設を!

また次回以降もワークショップの機会をつくって欲しい!

次回予告

「まごめ&これからどうする?」

日時 11月19日(土) 13時半~15時半
場所 武雄市文化会館
内容 最終回では、これまでのふりかえり&市民参加のます!

<お問い合わせ先>
武雄市 ども教育部文化課 新文化会館整備準備室
電話 0954-23-9181
FAX 0954-23-7585
E-mail bunka@city.takeo.lg.jp

新しい文化施設エリアを考える市民WSかわら版は武雄市ホームページにも掲載中です!

【コンセプト】
“来る理由が無くても来たい!”

渡り廊下から大桶や中庭を見る

- ・建物はアーチ状
- ・開放的にするため2階建てに!
- ・高校から近い建物に学習スペース

- ・建物にテラスやベランダをつくり、いろんな場所から観劇
- ・中庭でイベント

- ・蔵カフェでテイクアウトして池で食べる
- ・ベンチやテーブルを置いてカフェで買って食べる
- ・図書館のマルシェと文化会館の広場でマルシェ同時開催
- ・蔵カフェと建物をつなぐ
- ・黒門を通過して中庭のイベントステージに登場

【コンセプト】
“高齢者に優しいバリアフリー”
“子育て世代も集まる”

- ・高齢者にもやさしい景観を利用した建物
- ・バリアフリー
- ・休館日でもトイレを使いやすく

- ・東西に通り抜けできる仕組み
- ・武雄高校からのアプローチ(入口)を設ける
- ・建物間をあけ渡り廊下を工夫する
- ・搬入口を広くとる
- ・リハーサル室兼多目的スペース

- ・屋上から景観を見れるようにする(庭園側から平屋→2階→3階)
- ・高低差を利用し部分的に平屋にして入りやすい建物にする
- ・集会所のMTG室から庭園見えるように
- ・桜の木を生かす
- ・景観を利用 桜2本

- ・公園的な所があれば子育てにも
- ・汚れた池を活かす→ボランティアの方を募る
- ・池の前に東屋をつくる
- ・蔵に全国でひとつしかない茶室をつくる

【コンセプト】
“レベルアップしていく施設”
“迷わない施設”
“水辺で遊べる施設”

- ・発表の場
- ・イベントブース
- ・専門機材

- ・有料パーキング(2階建て)
- ・わかりやすい出入口
- ・プラス照明

- ・芝生をフラットに
- ・段をつけて遊べる小川
- ・水遊びできる水路

- ・大人たちの学べるゾーン
- ・子供達が学べる遊べるゾーン

- ・みふね山が見れるカフェ
- ・1F: カフェ / 3F: 展望スペース
- ・遊べる池、季節の花
- ・ピオトープ